

産業環境委員会報告資料

令和 7 年 1 1 月 1 2 日

報告事項件名	頁
(1) 令和 7 年度区内中小企業人材採用支援助成金の受付状況について	2
(2) 消費喚起策の進捗状況について	5
(3) 第 5 回レシート de 商品券事業の実施について	1 0
(4) 第二次あだち都市農業振興プラン中間見直しに関するパブリックコメント実施について	1 3

(産業経済部)

産業環境委員会報告資料

令和7年11月12日

件名	令和7年度区内中小企業人材採用支援助成金の受付状況について																							
所管部課名	産業経済部 企業経営支援課																							
内容	区内中小企業等の人材不足解消を目的として開始した区内中小企業人材採用支援助成金の令和7年度受付状況について、報告する。																							
	1 助成内容																							
	<table><tr><td>年度</td><td>令和7年度</td></tr><tr><td>対象</td><td>区内中小企業及び個人事業主</td></tr><tr><td>対象経費</td><td>① 求人サイトや有料求人情報誌等への掲載費用 ② 人材紹介事業者を仲介し、雇用した際に発生する経費（成功報酬）</td></tr><tr><td>助成額上限</td><td>① 求人広告 40万円 ② 人材紹介 60万円</td></tr><tr><td>助成率</td><td>1／2</td></tr><tr><td>予算額</td><td>181,029千円</td></tr><tr><td>申請期間</td><td>令和7年4月～ 令和8年1月末</td></tr><tr><td>申請条件</td><td>実績報告書提出の6ヶ月後に人材の定着状況を必ず報告。報告がなかった場合、報告期限の属する年度の翌年度以降の申請不可（要綱に規定）</td></tr><tr><td>備考</td><td>申請は年度内1回のみ</td></tr></table>	年度	令和7年度	対象	区内中小企業及び個人事業主	対象経費	① 求人サイトや有料求人情報誌等への掲載費用 ② 人材紹介事業者を仲介し、雇用した際に発生する経費（成功報酬）	助成額上限	① 求人広告 40万円 ② 人材紹介 60万円	助成率	1／2	予算額	181,029千円	申請期間	令和7年4月～ 令和8年1月末	申請条件	実績報告書提出の6ヶ月後に人材の定着状況を必ず報告。報告がなかった場合、報告期限の属する年度の翌年度以降の申請不可（要綱に規定）	備考	申請は年度内1回のみ					
	年度	令和7年度																						
	対象	区内中小企業及び個人事業主																						
	対象経費	① 求人サイトや有料求人情報誌等への掲載費用 ② 人材紹介事業者を仲介し、雇用した際に発生する経費（成功報酬）																						
	助成額上限	① 求人広告 40万円 ② 人材紹介 60万円																						
	助成率	1／2																						
	予算額	181,029千円																						
	申請期間	令和7年4月～ 令和8年1月末																						
申請条件	実績報告書提出の6ヶ月後に人材の定着状況を必ず報告。報告がなかった場合、報告期限の属する年度の翌年度以降の申請不可（要綱に規定）																							
備考	申請は年度内1回のみ																							
2 月別申請状況（令和7年10月末現在）																								
<table><caption>交付決定額と申請件数の推移（各月ベース）</caption><thead><tr><th>月</th><th>交付決定額（累計）千円</th><th>申請件数（累計）件数</th></tr></thead><tbody><tr><td>4月</td><td>26,921</td><td>78</td></tr><tr><td>5月</td><td>40,041</td><td>119</td></tr><tr><td>6月</td><td>54,685</td><td>160</td></tr><tr><td>7月</td><td>66,720</td><td>194</td></tr><tr><td>8月</td><td>72,704</td><td>217</td></tr><tr><td>9月</td><td>81,142</td><td>241</td></tr><tr><td>10月</td><td>91,562</td><td>268</td></tr></tbody></table>	月	交付決定額（累計）千円	申請件数（累計）件数	4月	26,921	78	5月	40,041	119	6月	54,685	160	7月	66,720	194	8月	72,704	217	9月	81,142	241	10月	91,562	268
月	交付決定額（累計）千円	申請件数（累計）件数																						
4月	26,921	78																						
5月	40,041	119																						
6月	54,685	160																						
7月	66,720	194																						
8月	72,704	217																						
9月	81,142	241																						
10月	91,562	268																						

	申請件数内訳				交付決定額
	求人広告 (件)	人材紹介 (件)	両方 (件)	合計 (件)	合計 (千円)
4 月	72	6	0	78	26,921
5 月	37	4	0	41	13,120
6 月	31	10	0	41	14,644
7 月	27	7	0	34	12,035
8 月	20	2	1	23	5,984
9 月	15	9	0	24	8,438
10 月	17	10	0	27	10,420
合計	219	48	1	268	91,562

3 業種別申請及び実績件数（令和7年10月末現在）

（1）求人広告（採用率順）

業種	申請 件数 (件)	実績報告 件数 ※ A (件)	採用 件数 B (件)	採用 人数 (人)	採用率 B/A (%)
小売業	24	8	7	10	88
サービス業	40	11	9	22	82
製造	23	13	10	17	77
飲食	13	8	5	16	63
土木・建築・建設等	75	24	15	32	63
運輸・運送・物流	40	21	10	22	48
介護（社会福祉法人 等は除く）	4	3	1	1	33
医療（医療法人等は 除く）	1	0	0	0	—
合計	220	88	57	120	65

※ 求人掲載終了後、実績報告書の提出があった件数

※ 1件は両方（求人広告と人材紹介）での申請だったが、人材紹介の
分が取り下げられたため、求人広告の中に計上。

（2）人材紹介（申請件数順）

業種	申請件数 (件)	実績報告件数 ※1 (件)	採用件数 ※2 (件)	採用人数 (人)
介護（社会福祉法人 等は除く）	13	10	10	11
サービス業	12	5	5	5
製造	7	6	6	6
土木・建築・建設等	4	3	3	5
飲食	4	3	3	4
小売業	4	3	3	4
医療（医療法人等は 除く）	3	1	1	1
運輸・運送・物流	1	1	1	1
合計	48	32	32	37

※1 人材紹介会社を利用して求職者が入社した後、実績報告書の提出
があった件数

※2 人材紹介は、内定後の申請となるため採用率は100%となる。

4 今後の方針等

- (1) 引き続き多くの区内中小企業に利用いただけるよう、関係団体への説明やチラシ配布を始め、他部や「区内中小企業人材確保支援事業」等の他事業とも連携を図りながら周知を行っていく。
- (2) 助成金交付の6ヶ月後に必ず定着状況を報告してもらう運用を開始したため、より確実な定着状況の把握に努めるとともに、企業側の要望を聴き取り、来年度以降の予算編成に活かしていく。
- (3) 本助成金を活用してもなお、採用や定着に悩む企業に対し、「区内中小企業人材確保支援事業」の人材確保コンサルティング支援を案内することで、採用及び定着の向上を図っていく。
- (4) 年度内の申請可能回数を複数回とすることについて、令和8年度からの導入に向けて要綱や運用等を整備していく。

産 業 環 境 委 員 会 報 告 資 料

令和 7 年 1 1 月 1 2 日

件名	消費喚起策の進捗状況について		
所管部課名	産業経済部 産業振興課		
内 容	令和 7 年度消費喚起策について、その進捗状況を報告する。		
	1 足立区プレミアム商品券（PayPay 商品券）		
	（1）キャンペーン内容		
		契約時	契約変更後
	購入・利用期間	令和 7 年 1 2 月 1 0 日～令和 8 年 3 月 1 0 日	
	参加要件	区民のみ・先着	
	商品券利用先	対象店舗：区内の PayPay 加盟店舗のうち、大手事業者（資本金 5,001 万円以上の法人が運営する店舗及び FC 店舗）を除く、足立区が指定した店舗 A 券：対象店舗全店で使用可能 B 券：対象店舗のうち、従業員数 1,000 人未満の店舗でのみ使用可能	
	プレミアム率	20% 1 セット 5,000 円で 6,000 円分 (A 券 3,000 円、 B 券 3,000 円)	<u>30%</u> 1 セット <u>4,000 円</u> で <u>5,200 円分</u> (A 券 <u>2,600 円</u> 、 B 券 <u>2,600 円</u>)
	購入限度	一人 5 セットまで	一人 <u>10 セット</u> まで
	発行セット数	80 万セット	<u>100 万セット</u>
プレミアム額	8 億円	<u>12 億円</u>	
区民への周知	①あだち広報 10 月 25 日号（ポータル窓口周知） ②あだち広報 11 月 25 日号（キャンペーン開始周知） ③生活産業広報紙「トキメキ」12 月号（キャンペーン開始周知） ④町会・自治会掲示板へポスター掲出 ⑤区民事務所など区内公共施設でチラシ配布 ※チラシ・ポスターには、繰り返し購入ができない旨を記載したシールを貼り付け済み。		
（2）専用コールセンター			
電話番号	0120-925-510（通話料無料）		
期間	令和 7 年 9 月 1 日～令和 8 年 3 月 1 0 日（毎日）		
時間	9：00～18：00		

(3) 商品券購入サポート窓口

設置場所	足立区役所本庁舎 アトリウム1階	地域学習センター等6カ所
期間	令和7年10月27日 ～12月19日 ※ 土日祝日を除く	令和7年10月27日 ～12月19日 ※ 土日祝日、休館日を除く
時間	9:00～17:00	

2 第4回レシートde商品券事業（終了）

(1) 事業の終了

ア 9月29日（月） 郵便局に商品券持ち込み完了

イ 10月31日（金） 契約終了

※ 還付発送対応（簡易書留保管期限切れ対応等）は11月21日（金）までは区で引き続き行う。

(2) 実績

ア 総申請数 88,130件

イ 有効申請数 86,813件

ウ 千住宿400年当選者 400件

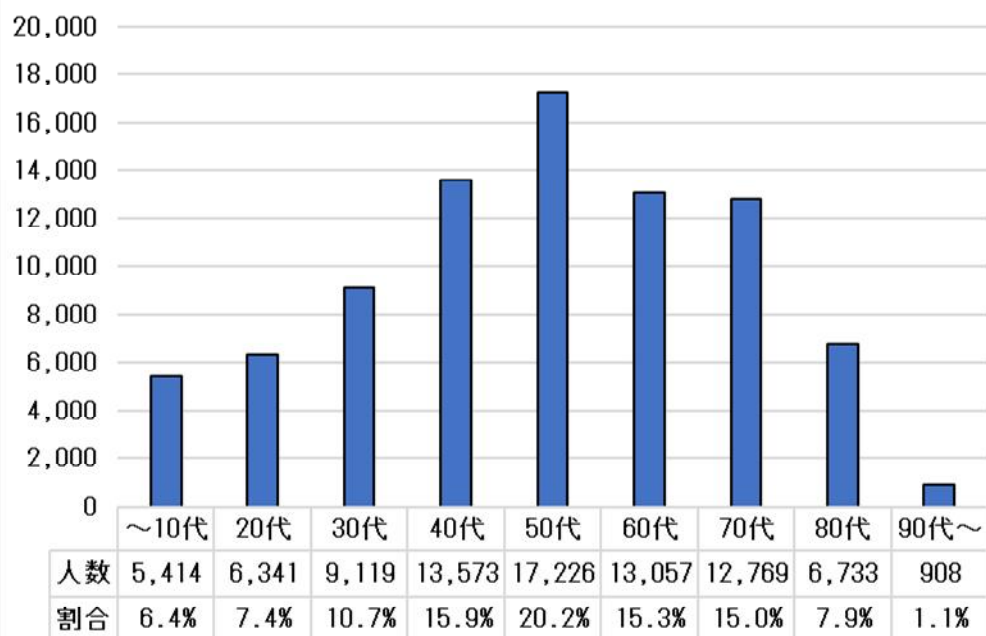
(3) 効果検証

ア 申請に関する分析

① 消費者の関心と需要は依然として高く、申請件数の推移からも認知度の広がりが確認できた。

② 応募層は10代～90代以上までと幅広く、高齢者やスマホ決済ができない方でも参加できる点が評価されている。

(ア) 年代別申請者の割合

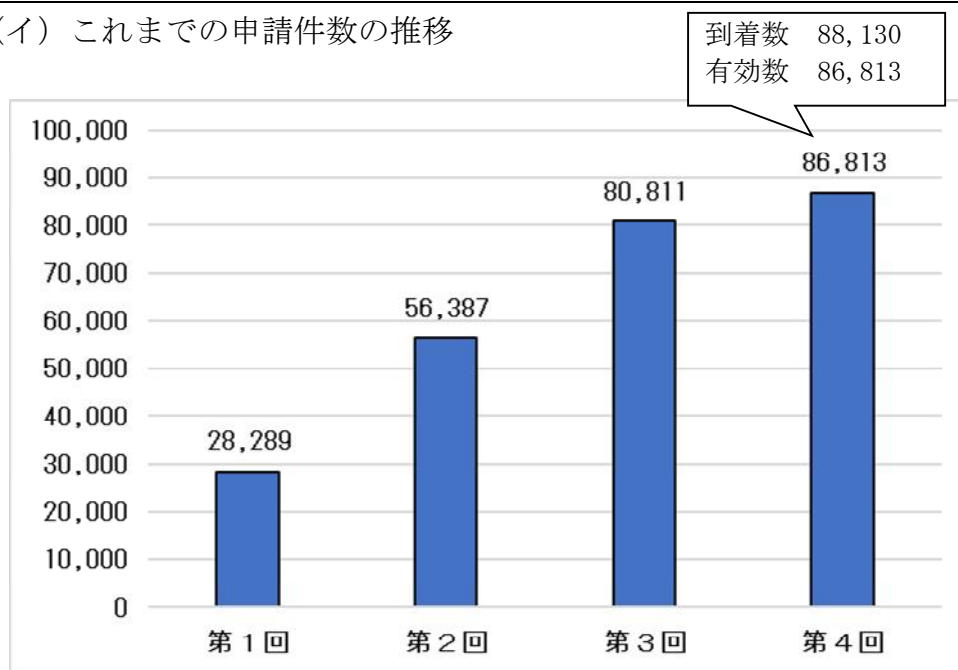


小数点下二桁で四捨五入しているため100%にならない

※ 年齢未回答の申請者は除く

第1～3回と同様、50代の割合が最も高く、70代以上の高齢者の割合も高い。応募層は10代～90代以上までと幅広い。

(イ) これまでの申請件数の推移



参考：申請到着数 推移

期間	第3回		第4回		
	到着数	累計	到着数	累計	到着数 前年度比
第1週	5	5	0	0	0.00
第2週	481	486	774	774	1.61
第3週	2,234	2,720	4,213	4,987	1.89
第4週	5,129	7,849	8,728	13,715	1.70
第5週	5,993	13,842	11,446	25,161	1.91
第6週	7,032	20,874	14,288	39,449	2.03
第7週	10,227	31,101	16,600	56,049	1.62
第8週	12,310	43,411	19,777	75,826	1.61
第9週	16,588	59,999	11,892	87,718	0.72
第10週	16,857	76,856	412	88,130	0.02
第11週	3,560	80,416	-	-	-

※ 第3回の申請期間は3月25日～5月31日、第4回の申請期間は5月27日～7月23日である。

- ① 第1回から第3回にかけて申請件数が大きく伸び、第4回は前回ほどの伸びはみられなかったものの、区民からの一定の需要が確認できた。
- ② 第3回と比較し、第2週から第8週にかけて申請到着数が1.5倍以上となっており、認知度の高さがうかがえる。

(ウ) 申請者の声

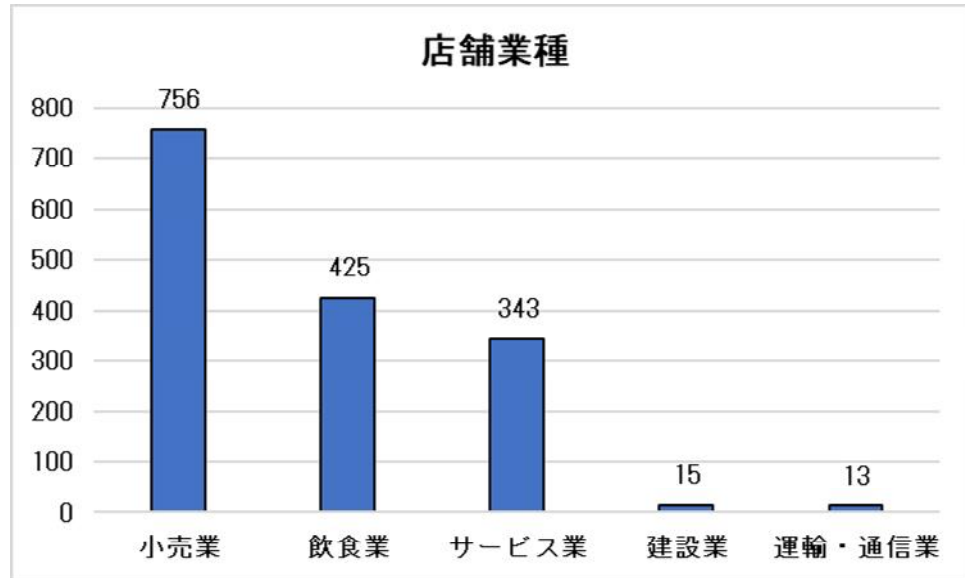
物価高騰が続く中、今後も継続実施して欲しいという声が多数を占めている。

高齢者やスマホ決済ができない方でも参加できる点が評価されている。

イ 店舗に関する分析

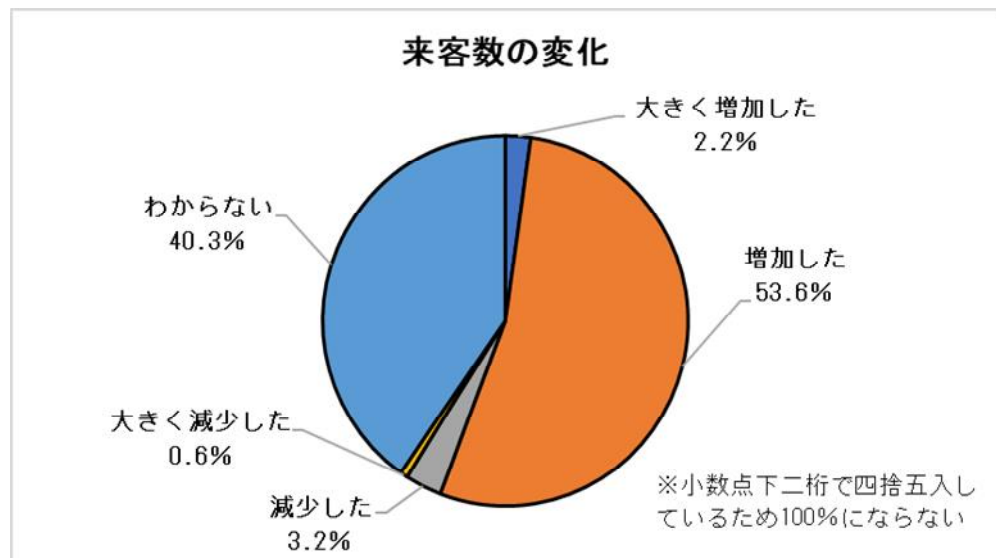
- ① 半数以上が来客数増加、約7割が売上増加を実感しており、ほとんどの店舗が次年度の協力を積極的である。
- ② アンケート回収率71.7%（1,552店のうち1,113店回答）（参考）第3回アンケート回収率80.5%

（ア）業種別登録店の割合



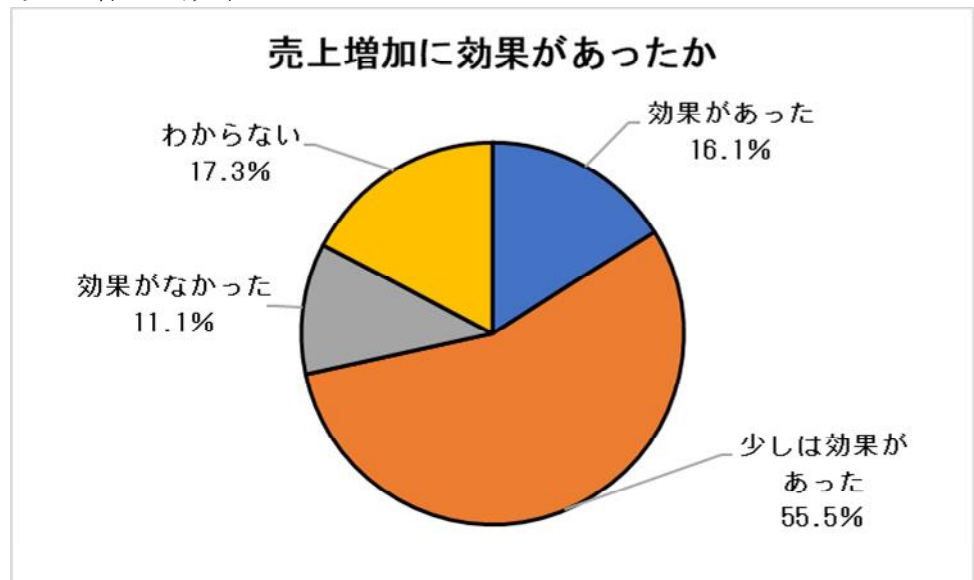
第1～3回とほぼ同様の割合であり、消費者に身近な小売業・飲食業・サービス業がそのほとんどを占める。

（イ）来客数の変化



半数以上が来客数の増加を実感している。

(ウ) 売上増加の効果



(エ) その他のアンケート結果

- ① 金額を900円以上としたこと「ちょうどいい」 82.1%
- ② 集める枚数を9枚としたこと「ちょうどいい」 78.8%
- ③ 来年度以降、登録店として協力するか「する」 99.5%

(4) 余った商品券について

ア 10万件の申請を想定して商品券を購入したが、結果的に約66,000枚(約3,300万円分)余った。

イ 残余分については第5回レシート de 商品券事業において活用する。

3 今後の方針等

(1) 足立区プレミアム商品券 (PayPay 商品券)

12月10日のキャンペーン開始に向けて、広報紙や掲示板を通して周知活動を実施するとともに、サポート窓口を開設し、スマートフォンやアプリの操作に不慣れな方の支援を行う。

(2) レシート de 商品券事業

今年度事業の消費者及び区内事業者の反応を踏まえ、第5回レシート de 商品券事業を実施する。

産 業 環 境 委 員 会 報 告 資 料

令和 7 年 1 1 月 1 2 日

件 名	第 5 回レシート de 商品券事業の実施について																															
所管部課名	産業経済部 産業振興課																															
内 容	物価高騰の長期化により、区民生活および区内事業者への影響が続いていることから、引き続き消費喚起策を講じる必要がある。 1 2 月には足立区プレミアム商品券（PayPay 商品券）を発行するが、スマートフォンを持たない方や、運転免許証・マイナンバーカード等の身分証明書を持たない方など、一部の区民は対象外となる。 レシート de 商品券事業は、こうした方々も参加できるアナログ型の事業であり、第 4 回実施時には申請者・登録店舗の双方から好評を博している。 以上を踏まえ、誰もが参加できる消費喚起策として、第 5 回レシート de 商品券事業を実施する。 1 第 5 回レシート de 商品券事業 (1) キャンペーン内容 ア ㊦スタンプが押された 9 0 0 円以上（税込）の 2 店舗以上のレシート 9 枚で、区内共通商品券 3, 0 0 0 円分をプレゼント。 イ 本事業登録店には、協力金として 1 0, 0 0 0 円を支給する。 (2) 事業概要 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>第 4 回（R 7 参考）</th><th>第 5 回（R 8）</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>契約期間</td><td>令和 7 年 2 月～1 0 月</td><td>令和 8 年 1 月～9 月</td></tr> <tr> <td>キャンペーン期間</td><td>令和 7 年 5 月 2 7 日 ～7 月 1 6 日</td><td>令和 8 年 4 月 2 7 日 ～6 月 1 6 日</td></tr> <tr> <td>申請受付期間</td><td>令和 7 年 5 月 2 7 日 ～7 月 2 3 日</td><td>令和 8 年 4 月 2 7 日 ～6 月 2 3 日</td></tr> <tr> <td>商品券発送期間</td><td>令和 7 年 6 月～9 月</td><td>令和 8 年 5 月～8 月</td></tr> <tr> <td>商品券プレゼント ①</td><td>2, 5 0 0 円</td><td>3, 0 0 0 円 ㊦拡充</td></tr> <tr> <td>商品券プレゼント ②</td><td>（千住宿開宿 4 0 0 年記念） 抽選で 4 0 0 名に 4, 0 0 0 円分追加</td><td>なし</td></tr> <tr> <td>登録店への協力金</td><td>10, 0 0 0 円</td><td>10, 0 0 0 円</td></tr> <tr> <td>登録店舗数</td><td>1, 5 5 2 店</td><td>1, 5 0 0 店（想定）</td></tr> <tr> <td>申請件数</td><td>8 6, 8 1 3 件</td><td>9 0, 0 0 0 件 （想定）</td></tr> </tbody> </table>			第 4 回（R 7 参考）	第 5 回（R 8）	契約期間	令和 7 年 2 月～1 0 月	令和 8 年 1 月～9 月	キャンペーン期間	令和 7 年 5 月 2 7 日 ～7 月 1 6 日	令和 8 年 4 月 2 7 日 ～6 月 1 6 日	申請受付期間	令和 7 年 5 月 2 7 日 ～7 月 2 3 日	令和 8 年 4 月 2 7 日 ～6 月 2 3 日	商品券発送期間	令和 7 年 6 月～9 月	令和 8 年 5 月～8 月	商品券プレゼント ①	2, 5 0 0 円	3, 0 0 0 円 ㊦拡充	商品券プレゼント ②	（千住宿開宿 4 0 0 年記念） 抽選で 4 0 0 名に 4, 0 0 0 円分追加	なし	登録店への協力金	10, 0 0 0 円	10, 0 0 0 円	登録店舗数	1, 5 5 2 店	1, 5 0 0 店（想定）	申請件数	8 6, 8 1 3 件	9 0, 0 0 0 件 （想定）
	第 4 回（R 7 参考）	第 5 回（R 8）																														
契約期間	令和 7 年 2 月～1 0 月	令和 8 年 1 月～9 月																														
キャンペーン期間	令和 7 年 5 月 2 7 日 ～7 月 1 6 日	令和 8 年 4 月 2 7 日 ～6 月 1 6 日																														
申請受付期間	令和 7 年 5 月 2 7 日 ～7 月 2 3 日	令和 8 年 4 月 2 7 日 ～6 月 2 3 日																														
商品券発送期間	令和 7 年 6 月～9 月	令和 8 年 5 月～8 月																														
商品券プレゼント ①	2, 5 0 0 円	3, 0 0 0 円 ㊦拡充																														
商品券プレゼント ②	（千住宿開宿 4 0 0 年記念） 抽選で 4 0 0 名に 4, 0 0 0 円分追加	なし																														
登録店への協力金	10, 0 0 0 円	10, 0 0 0 円																														
登録店舗数	1, 5 5 2 店	1, 5 0 0 店（想定）																														
申請件数	8 6, 8 1 3 件	9 0, 0 0 0 件 （想定）																														

(3) キャンペーン期間

- ア 切れ目のない消費喚起策として、可能な限り早期に実施する。
 イ そのため、12月補正予算において債務負担を設定し、可決された場合には、1月に契約を行う。
 ウ キャンペーンは4月下旬から開始する予定である。

(4) 商品券プレゼント額の増額

- ア 物価高騰対策としてより区民へ還元するためプレゼント額を500円増額し、3,000円にする。
 イ 第4回の残余分である商品券約66,000枚を増額分の一部に充てる。
 ウ 商品券を増額しても商品券印刷代を除き事業費の増額は生じない。

(5) 想定申請件数

- ア 第3回の申請到着数は80,811件、第4回の申請到着数は88,130件であり、キャンペーン期間2か月で88,000件程度の区民ニーズはありと考える。
 イ 第5回は商品券プレゼント額を一律3,000円に増額することから、需要増を見込み、想定申請数を90,000件とする。

(6) 商品券購入方法

- ア 第4回は商品券を一括購入し、余りが発生したことが大きな課題となった。
 イ 課題を踏まえ、商連と事前に協議し、分割購入とすることで、余りが出ないように調整を行う。

(7) 予算額内訳

ア 内訳表

	第4回予算額	第5回予算額	備考
商品券購入	251,600千円	237,035千円	第4回の残余分である32,965千円を含め、計 270,000千円 を還元する
区民還元分 小計	251,600千円	237,035千円	
固定費	81,678千円	74,099千円	商品券印刷費、各郵送費、協力金
コールセンター	27,280千円	19,014千円	
スタンプ・ 印刷物作成費	19,382千円	22,641千円	配送費込
管理費等	190,060千円	129,903千円	登録店舗募集管理費、レシート審査費、商品券管理発送業務費、効果測定経費、トラブル対応費等
事業分 小計	318,400千円	245,657千円	
合 計	570,000千円	482,692千円	前年度比△87,308千円 ※但し、第5回の区民還元額に第4回の商品券残余分を含むと 前年度比△54,343千円

	イ 予算額の見直し (ア) 第2～4回は予算額を570,000千円としていた。 (イ) 費用削減の一環として、コールセンターの稼働時間を見直し、改めて下見積を取得した。 (ウ) 3社から下見積を取得し、平均額の482,692千円を予算計上する。 2 今後の方針等 (1) 1月の契約に向けて12月補正を計上して債務負担を設定する。 (2) 人員体制の確保、業務フローの整理を実施するよう仕様書に明記し、事故再発防止に努める。
--	--

産 業 環 境 委 員 会 報 告 資 料

令和 7 年 1 1 月 1 2 日

件 名	第二次あだち都市農業振興プラン中間見直しに関するパブリックコメント実施について										
所管部課名	産業経済部 産業振興課										
内 容	令和 2 年度に策定された第二次あだち都市農業振興プラン（計画期間：令和 2 年度～令和 1 1 年度）について、中間見直し作業を進めており、以下の通りパブリックコメントを実施する。 1 パブリックコメントの実施 (1) 募集期間 令和 7 年 1 2 月 1 0 日（水）～令和 8 年 1 月 9 日（金） (2) 周知方法及び閲覧配布 ア あだち広報 1 1 月 2 5 日号及びホームページ、SNS による周知 イ 産業振興課、区民事務所、中央図書館、区政情報課、政策経営課にて資料を閲覧、配布 2 今後のスケジュール <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施時期</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和 7 年 1 1 月</td><td>1 9 日、第二次あだち都市農業振興プラン推進協議会開催（第二次あだち都市農業振興プラン案の審議）</td></tr> <tr> <td>令和 7 年 1 2 月</td><td>① 第二次あだち都市農業振興プラン（案）を 1 2 月産業環境委員会へ報告 ② パブリックコメントの募集（3 1 日間）</td></tr> <tr> <td>令和 8 年 1 ～ 2 月</td><td>パブリックコメントを反映させた第二次あだち都市農業振興プランについて、J A 東京スマイル、足立区農業委員会から意見聴取</td></tr> <tr> <td>令和 8 年 3 月</td><td>① 上記意見に対する区の考え方を 3 月産業環境委員会へ報告 ② 第二次あだち都市農業振興プラン中間見直しの公表</td></tr> </tbody> </table> 3 今後の方針等 (1) 第二次あだち都市農業振興プラン（案）については、1 2 月産業環境委員会で報告予定 (2) パブリックコメントで寄せられた意見等を第二次あだち都市農業振興プランの中間見直しに反映させていく。	実施時期	内容	令和 7 年 1 1 月	1 9 日、第二次あだち都市農業振興プラン推進協議会開催（第二次あだち都市農業振興プラン案の審議）	令和 7 年 1 2 月	① 第二次あだち都市農業振興プラン（案）を 1 2 月産業環境委員会へ報告 ② パブリックコメントの募集（3 1 日間）	令和 8 年 1 ～ 2 月	パブリックコメントを反映させた第二次あだち都市農業振興プランについて、J A 東京スマイル、足立区農業委員会から意見聴取	令和 8 年 3 月	① 上記意見に対する区の考え方を 3 月産業環境委員会へ報告 ② 第二次あだち都市農業振興プラン中間見直しの公表
実施時期	内容										
令和 7 年 1 1 月	1 9 日、第二次あだち都市農業振興プラン推進協議会開催（第二次あだち都市農業振興プラン案の審議）										
令和 7 年 1 2 月	① 第二次あだち都市農業振興プラン（案）を 1 2 月産業環境委員会へ報告 ② パブリックコメントの募集（3 1 日間）										
令和 8 年 1 ～ 2 月	パブリックコメントを反映させた第二次あだち都市農業振興プランについて、J A 東京スマイル、足立区農業委員会から意見聴取										
令和 8 年 3 月	① 上記意見に対する区の考え方を 3 月産業環境委員会へ報告 ② 第二次あだち都市農業振興プラン中間見直しの公表										